

令和4年度

十津川村教育委員会  
点検・評価報告書

令和6年2月15日

十津川村教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条第 1 項及び第 2 項の規定に基づき、令和 4 年度十津川村教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況点検評価の結果について、報告いたします。

令和 6 年 2 月

十津川村教育委員会

## 目 次

はじめに

I. 点検・評価実施要領	4
II. 教育委員会の運営及び活動状況	7
III. 事務事業評価シート	
【学校教育に関すること】	
1. 地域連携教育	11
2. ICT 教育・GIGA スクール構想事業	12
3. 特別支援教育	13
4. スクールカウンセラー派遣事業	14
5. 外国青年招致事業 (ALT)	15
6. 防災教育	16
7. 森林環境教育	17
8. 食育	18
9. サマースクール事業	19
10. 通級指導教室	20
【学校教育施設の管理運営に関すること】	
11. 学校施設整備事業	21
12. 厨房機器整備事業	22
13. 教職員住宅整備事業	23
【教職員・児童生徒の保健安全に関すること】	
14. 通学路	24
15. 学校保健事業	25
【子育て支援に関すること】	
16. 学校給食無償化事業	26
17. 通学費補助事業	27
18. 修学旅行費補助事業	28

19. にこにこキッズルーム	29
20. 就学援助	30
21. 奨学資金貸付事業	31
【社会教育・生涯学習に関すること】	
22. 社会教育委員	32
23. 乳幼児家庭教育学級	33
24. 新十津川町との交流事業	34
25. 成人式式典事業	35
26. 公民館事業	36
27. のら文庫	37
28. 社会教育関係等団体指導育成事業	38
【文化施設の管理運営に関すること】	
29. 歴史民俗資料館	40
30. 教育資料館	41
31. 山村生産用具収蔵庫	42
32. むかし館	43
【文化財の保護に関すること】	
33. 文化財審議委員	44
34. カモシカ保護事業	45
35. 文化財保存整備事業	46
【歴史・文化・芸術の振興に関すること】	
36. 歴史・文化講座	47
37. 文化祭	48
38. 村史編さん事業	49
【社会体育施設の管理運営に関すること】	
39. 体育文化センター	50
40. 十津川村民ひろば	51
【スポーツの振興に関すること】	
41. スポーツ推進委員	52
42. スポーツ・文化大会等出場者奨励事業	53
43. チャレンジスポーツ in 十津川	54
44. 駅伝大会	55
IV. 点検・評価のまとめ	56

## 1. 点検・評価実施要領

### 1. 趣旨

本点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条第1項及び第2項の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、より効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、村民に対する説明責任を果たしていくことを目的とする。

### 2. 点検・評価の対象

- (1) 十津川村教育委員会の運営及び活動状況
- (2) 第5次十津川村総合計画(平成29年度～令和8年度)及び十津川村教育大綱(令和2年度～令和6年度)に基づく下記の教育委員会所管の令和4年度の主要な事務事業

#### 【学校教育に関すること】

1. 地域連携教育
2. ICT教育・GIGAスクール構想事業
3. 特別支援教育
4. スクールカウンセラー派遣事業
5. 外国青年招致事業(ALT)
6. 防災教育
7. 森林環境教育
8. 食育
9. サマースクール事業
10. 通級指導教室

#### 【学校教育施設の管理運営に関すること】

11. 学校施設整備事業
12. 厨房機器整備事業
13. 教職員住宅整備事業

#### 【教職員・児童生徒の保健安全に関すること】

14. 通学路
15. 学校保健事業

#### 【子育て支援に関すること】

16. 学校給食無償化事業
17. 通学費補助事業

18. 修学旅行費補助事業
19. にこにこキッズルーム
20. 就学援助
21. 奨学資金貸付事業

【社会教育・生涯学習に関すること】

22. 社会教育委員
23. 乳幼児家庭教育学級
24. 新十津川町との交流事業
25. 成人式式典事業
26. 公民館事業
27. のら文庫
28. 社会教育関係等団体指導育成事業

【文化施設の管理運営に関すること】

29. 歴史民俗資料館
30. 教育資料館
31. 山村生産用具収蔵庫
32. むかし館

【文化財の保護に関すること】

33. 文化財審議委員
34. カモシカ保護事業
35. 文化財保存整備事業

【歴史・文化・芸術の振興に関すること】

36. 歴史・文化講座
37. 文化祭
38. 村史編さん事業

【社会体育施設の管理運営に関すること】

39. 体育文化センター
40. 十津川村民ひろば

【スポーツの振興に関すること】

41. スポーツ推進委員
42. スポーツ・文化大会等出場者奨励事業
43. チャレンジスポーツ in 十津川
44. 駅伝大会

### 3. 点検・評価の方法

- (1) 事務事業毎に事業コスト・取組内容及び成果・課題を「事務事業評価シート」に取りまとめ点検・評価を行う。但し、新型コロナウイルス感染症の影響により実施出来なかった事務事業については、点検のみを行い、評価は行わないこととする。
- (2) 作成した「事務事業評価シート」をもとに有識者から意見を聴取する。
- (3) 有識者の意見を受けて、次年度以降の事務事業の方向性を決定する。

### 4. 点検・評価に関する有識者の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、十津川村教育委員会が行った事務の管理及び執行の状況についての自己点検及び評価に対する意見を徴するため、十津川村教育委員会点検・評価に関する有識者を次の者に委嘱する。

奥田 智（日本大学経済学部教授、元奈良教育大学准教授）

### 5. 点検・評価報告書の提出

十津川村教育委員会は、「十津川村教育委員会点検・評価報告書」を村議会へ提出する。

### 6. 点検・評価結果の公表

十津川村教育委員会は、点検・評価の結果を村のホームページで公表する。

## II. 教育委員会の運営及び活動状況

### (1) 教育長及び教育委員について

教育長及び教育委員は下表のとおりです。

職名	氏名
教育長	中井 基雄
教育長職務代理	松田 充弘
委員	更谷 孝澄
委員	野長瀬 譲
委員	玉置 真知子

### (2) 教育委員会議及び審議状況について

令和4年度は合計で12回の会議を開催し、審議事項18件、協議報告事項28件について審議・協議報告を行いました。内容は下表のとおりです。

開催日	審議事項	協議報告事項
4月25日(月) 第1回定例会議	・十津川村教育委員会書籍等販売事務取扱要綱の制定について	・村史「歴史資料編(近世1)」の刊行について ・令和4年度教育課予算について
5月25日(水) 第2回定例会議	・十津川村にここキッズルーム運営規程の制定について	・新十津川町児童生徒・教職員母村訪問研修について ・第1回社会教育委員会議の内容について
6月24日(金) 第3回定例会議	・十津川村文化財保護審議会委員の任命について ・十津川村通級指導教室設置要綱の制定について	・一時帰国者の体験入学の受入れについて ・新十津川町児童生徒・教職員母村訪問研修について
7月25日(月) 第4回定例会議	なし	・令和4年度一般会計補正予算(案)について ・第2回社会教育員会議の内容及び第42回十津川村文化祭について ・学校における働き方改革について
8月29日(月) 第5回定例会議	・令和5年度教科書採択(特別支援学級分)について ・通学路安全対策推進会議設置要綱の制定及び通学路安全プログラムの改訂について	なし
9月26日(月) 第6回定例会議	なし	・第3回社会教育委員会議の内容について ・第2回チャレンジスポーツin十津川について ・第42回十津川村文化祭について



10月25日 (火) 第7回定例会議	なし	・令和5年成人式について ・第69回十津川村駅伝大会について
開催日	審議事項	協議報告事項
11月28日 (月) 第8回定例会議	なし	・令和4年12月1日付け異動内示について ・ユネスコ無形文化遺産の登録勧告について ・第4回社会教育委員会議の内容について
12月23日 (金) 第9回定例会議	・令和5年度特別な支援を要する児童生徒について ・令和3年度十津川村教育委員会点検・評価報告書(案)について	・ユネスコ無形文化遺産の登録について ・第69回十津川村駅伝大会について ・第18回市町村対抗子ども駅伝大会について ・教職員の勤務状況について
1月31日(火) 第10回定例会議	・十津川村立学校の管理運営に関する規則の一部を改正について ・十津川村立学校職員の公用車の使用に関する要綱の制定について ・令和3年度十津川村教育委員会点検・評価報告書(案)について	・令和6年以降の成人式の名称について ・第69回十津川村駅伝大会の結果について ・令和4年度新十津川町青年道外研修について
2月24日(金) 第11回定例会議	・十津川村教育委員会事務局職員の職の設置規則の一部改正について ・十津川村個人情報保護条例の施行に関する十津川村教育委員会規則の廃止について	・第5回社会教育委員会議の内容について ・総務文教常任委員会(2/15)について
3月24日(金) 第12回定例会議	・世界遺産連絡調整会議運営要綱の一部改正について ・書籍等販売事務取扱要綱の一部改正について ・日本スポーツ振興センター災害共済掛金取扱要綱の制定について ・アレルギー疾患等対応マニュアルの策定について ・ハラスメントの防止等に関する指針の策定について	・第6回社会教育委員会議の内容について ・令和4年度予算の繰越及び令和5年度予算について

#### 【教育委員会規則】

- 令和4年 なし

#### 【教育委員会告示】

- 第1号(令和4年1月25日)十津川村通級指導検討委員会設置要綱
- 第2号(令和4年2月1日)十津川村指定文化財の特記すべき事項の追加について
- 第3号(令和4年3月25日)十津川村社会教育関係団体補助金交付要綱の一部を改正する告示
- 第4号(令和4年3月25日)十津川村文化財保存事業補助金交付要綱

○第5号（令和4年4月26日）十津川村教育委員会書籍等販売事務取扱要綱

○第6号（令和4年5月26日）十津川村にこにこキッズルーム運営規程

○第7号（令和4年5月26日）十津川村放課後子ども教室運営委員会設置要綱を廃止する告示

○第8号（令和4年6月29日）十津川村通級指導教室設置要綱

○第9号（令和4年9月1日）十津川村通学路安全対策推進会議設置要綱

(3) 教育委員会議以外の活動について

各種行事等に参加しました。主な内容は下表のとおりです。

活 動 日	内 容	参 加 者
4月7日(木)	十津川第一小学校入学式 十津川第二小学校入学式	教育長職務代理 教育長
4月8日(金)	十津川中学校入学式	教育長
9月24日(土)	十津川第一小学校運動会	教育長
9月26日(月)	十津川村教育総合会議	全教育委員
10月1日(土)	十津川第二小学校運動会	教育長職務代理
10月2日(日)	十津川第一小学校運動会	教育長
10月8日(土)	十津川中学校体育大会	教育長職務代理
10月14日(金)	学校訪問	全教育委員
11月3日(木)	十津川村文化祭	全教育委員
11月16日(水)	市町村教育委員研修会	教育長・教育長職務代理
12月22日(木)	十津川高校魅力化推進会議	教育長職務代理
1月3日(火)	十津川村成人式	教育長
1月19日(木)	中高合同総合学習発表会	全教育委員
3月15日(水)	十津川中学校卒業証書授与式	教育長
3月23日(木)	十津川第一小学校卒業証書授与式 十津川第二小学校卒業証書授与式	教育長職務代理 教育長

# III.事務事業評価シート

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

1

事務事業名	地域連携教育
-------	--------

事業の目的	十津川高等学校はH29から、小中学校においてはH30から始まった学校運営協議会とともに、村内全教員で村の子どもの教育に取り組み、進んで社会を支えていこうとする気概と資質を身に付けた児童生徒を育てる。
事業の内容	<p>推進委員会の開催：年3回 事務局会議の開催：年8回</p> <p>【特別活動部会】小中高合同文化鑑賞会（高校・中学校・小学校の全員参加）を実施した。</p> <p>【生徒指導部会】各校の生徒指導の情報共有や共通課題を認識した。</p> <p>【総合学習部会】中高合同総合発表会を実施し、高校・中学校から各3班の取組を発表した。</p> <p>【各教科部会】数学・英語部会では、高校教員による中学校でのTTの実施と互いの授業見学・意見交流を、体育部会は体力テスト支援事業として授業を行い、理科部会では、授業や実験観察に関する取組や課題についてオンラインでの意見交換を行った。</p> <p>【小学校-高校連携】高校教員による小学校授業の実施や補助を通して、小学校教員との意見交換を行った。</p>

		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
事業コスト (単位：千円)	事業費	554	818	1,000
	特定財源	0	0	0
	一般財源	554	818	1,000

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	合同文化鑑賞会	人 253 (小中高全員)	211 (小中高全員)	213 (小中高全員)	
	小中高生徒交流会	人	20(オンライン交流)	93	
	中高総合発表会	人 150 (中高全員)	116 (中高全員)	114 (中高全員)	
	合同体力テスト	人		一小+中、二小+高で実施	一小+中、二小+高で実施
	防災教育		高校生による小中への出前授業	高校生による小中への出前授業	高校生による小中への出前授業
	学力向上対策		学力テスト及び学習プリント フォーサイト手帳	学力テスト及び学習プリント フォーサイト手帳	学力テスト及び学習プリント フォーサイト手帳
事業の課題	各活動部会の意見交換や地域連携に関わる活動が盛んに行われて来ている。こうしたそれぞれの活動が教員のスキルアップにつながり、子ども達への教育に反映していくことが重要である。ICTを活用した授業作りや、子どもの基礎学力定着、学力向上のためのアイテムとしての利活用に関する情報共有や研修などの取組が継続的に必要である。				
事業の評価	<b>B</b>	<p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>			

有識者の所見	村内全教員で村の教育に取り組むため「推進委員会」「事務局会議」及び「特別活動部会」「生徒指導部会」「総合学習部会」「各教科部会」「小学校-高校連携」などが設置され、十津川地域における連携教育を推進する組織が整えられている。令和4年度においても小中高合同文化鑑賞会・中高合同総合発表会・小中高生徒交流会などが開催されている。今後もICT等も活用し各教科指導、特別活動・生徒指導・総合的な学習の時間等において、村内全教員で連携し村の子どもたちの教育に、より一層の取り組まれることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

2

事務事業名	ICT教育・GIGAスクール構想事業
-------	--------------------

事業の目的	多様な見方や考え方に触れ、コミュニケーション力を育てる手立てのひとつとして、ICTを適切に活用した学習環境を整える。
-------	--

事業の内容	ICTを活用した児童生徒の学力向上及び情報活用能力の育成 教員のICTを活用した指導力の向上  令和4年度事業内訳：教員用PC（第一小：2台、第二小：2台）608,960円 chromebook購入（4台）158,400円
-------	---

事業コスト (単位：千円)		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
	事業費	119	768	2,456
	特定財源	0	0	0
	一般財源	119	768	2,456

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	校内LAN工事	校	3	0	0
	chromebook整備	台	186	0	0
	職員室等PC整備	台	0	4	0
	chromebook購入	台	3	4	8
	(故障による)				
	第二小アクセスポイント増設	千円	—	—	1,929

事業の課題	担当職員並びに教職員にも高度な知識や技術が求められるため、職員等の育成やノウハウの習得に務める必要がある。
-------	---

事業の評価	<b>B</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	国の事業等を活用し、村内学校の情報機器の整備が進められています。機器の整備と共に、年々進化する情報機器を使いこなす教職員を育成することが益々重要になってくると考えます。研修会のより一層の充実を期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

3

事務事業名	特別支援教育
-------	--------

事業の目的	<p>【教育相談事業】配置した教育相談員の指導・助言を参考にして、県の高田子ども家庭相談センターや福祉関係の諸機関・行政・医療機関などと連携を図る。</p> <p>【特別支援教育就学奨励費】特別な支援を要する児童生徒等の保護者等の経済的負担を軽減するために必要な援助を行い、学校への就学を奨励するとともに特別支援教育の振興を図る。</p>
事業の内容	<p>【教育支援委員会】特別な支援を要する児童生徒等の適正な教育支援に関して審議を行う。 委員：任期2年、11名を委嘱（学識経験者・医師・行政機関・教育機関） 会議：年間3回開催</p> <p>【教育相談事業】（奈良教育大学：越野和之教授）村立保育所（3カ所）・村立小中学校（3校）を訪問し、観察・助言・指導を行い、児童生徒等に関する特別支援教育や就学・修学を支援する。 （元大淀養護学校教諭：稲田ひろ子先生）特別支援教育に関わる保育所員・小中学校教師への指導助言。</p> <p>【特別支援就学奨励費】 特別支援学級へ入級している児童生徒へ学用品費等を支給。</p>

		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	347	204	316
	特定財源	173	102	156
	一般財源	174	102	160

区分		単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）
取組内容及び成果	児童数（知的）	人	2	4	5
	児童数（情緒）	人	19	15	13
	児童数（難聴）	人	0	0	1
	生徒数（知的）	人	2	1	1
	生徒数（情緒）	人	1	1	0
	教育相談訪問回数	回	16	16	16

事業の課題	<p>・特別な支援を必要とする児童生徒個々に適した「学びの場」を提供するために、令和5年度より通級指導教室を新規開設する。そのためにも、教育支援委員会及び教育委員会において、本人保護者の願いを大切にしながらも、一人一人の障害の状態を分析し学びの場を決定する。</p> <p>・学校現場における人手不足が課題となっており、支援員の確保が今後も求められる。</p>
-------	--

事業の評価	<p><b>A</b></p> <p>A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	--

有識者の所見	<p>教育相談員として大学教員を配置し、より専門的な見地から特別支援教育及び就学・修学支援が行われています。学識経験者・医師等を委員として委嘱し十津川村教育支援委員会が年3回、教育相談事業は村立保育所（3カ所）・村立小中学校（3校）で実施されています。令和5年度より通級指導教室の新規開設計画が立てられています。人手不足が課題となっており、支援員の確保する困難さもあると思いますが、今後もすべての子どもたちを大切にする教育を進められることを期待します。</p>
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

4

事務事業名

スクールカウンセラー派遣事業

事業の目的

児童生徒・保護者・教職員の悩みを受け止め、学校におけるカウンセリング機能や教育相談体制の充実を図るため、心理臨床の専門知識や経験をもつ人材を活用する。

事業の内容

この事業は県費による年間44時間のカウンセリングをさらに充実補完するため、年間54時間（1日6時間で9日間）分のカウンセリングを実施している。その派遣回数は、思春期の不安定さを考慮し、中学校に重きをおきながら、2つの小学校でも複数回実施している。各学校のカウンセリング担当の教諭がカウンセラー来校までに1日の時間調整を行う。基本的にカウンセリング内容は守秘義務によりカウンセラーから発信されることはないが、その内容が生徒指導や自殺などに発展する危険性を感じるような重大事象または虐待等に関連する事象の場合は、カウンセラー・当該校教員・村教育委員会の関係者によるケース会議を持つことで早急かつ慎重な対応をとることとなる。

事業コスト  
(単位：千円)

		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
事業費	事業費	360	350	418
	特定財源	0	0	0
	一般財源	360	350	418

取組内容及び成果

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
+	十津川中学校	回【時間】	5(7)【57h】	4(5)【54h】	5(6)【66h】
	十津川第一小学校	回【時間】	2(3)【26h】	3(1)【24h】	4(2)【22h】
	十津川第二小学校	回【時間】	3(3)【28h】	3(2)【24h】	3(3)【22h】
		※（ ）内は県費による実施回数	※（ ）内は県費による実施回数	※（ ）内は県費による実施回数	
		【 】内はカウンセリングの総時間数	【 】内はカウンセリングの総時間数	【 】内はカウンセリングの総時間数	

事業の課題

カウンセリングへのハードルを下げるための取組として児童生徒全員対象に短時間のカウンセリング体験を継続実施している。悩みを出せない児童生徒（特に中学生）にカウンセリングの機会を増やしていきたいが、当該の児童生徒からの面談希望が少ない現状が依然としてある。いじめに関するアンケートや生活等に関するアンケートの結果等を基にした分析とスクリーニング会議より、今後も早期の発見に努めてもらいたい。SNS等の問題を含め、児童生徒を取り巻く多様な状況がある中で、児童生徒・保護者・教員の心身に関わる問題の、早期発見・早期解決につながるよう、今後も県費のみならず村費によるこの事業を存続したい。

事業の評価

- A**
- A 十分成果が上がっている
  - B 成果が上がっている
  - C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある
  - D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

有識者の所見

十津川中学校・54時間、十津川第一小学校・24時間、十津川第二小学校・24時間のカウンセリングが行われている。県費のみならず村費によっても充実補完されている。高く評価したい。また、いじめに関するアンケートや生活等に関するアンケートの結果等を基にした分析とスクリーニング会議、また、カウンセリングへのハードルを下げるための独自の取組として、児童生徒全員対象に短時間のカウンセリング体験が実施されている。悩みを出せない児童生徒にカウンセリングの機会を増やしていく大切な取り組みであると考えます。昨今のいじめ問題、SNS等による誹謗中傷など、今後とも児童生徒を取り巻く多様な状況がある中で、県費により実施されている事業を充実補完させる事業に取り組み、今後も充実されることを期待します。

事業の方向性

- さらに重点化する
- 現状のまま継続する
- 見直しのうえ継続する
- 事業の縮小を検討する
- 休止・廃止を検討する
- 終了・完了

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

5

事務事業名

外国青年招致事業（ALT）

事業の目的

各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養う。また、外国語教育において児童生徒が生きた外国語に触れたり、国際理解教育の向上を目的にALTを配置し、授業の補助を実施する。

事業の内容

○継続的に任用できる期間：5年 勤務時間：8時30分から16時15分 週35時間  
 ○十津川第一小学校：毎週水・金曜日 十津川第二小学校：毎週火・木曜日 中学校：毎週月曜日  
 ※年に2～3回保育所にも訪問(小中学校の授業に余裕が出てきた時期を予定)  
 ①英語授業の助手・・・ペアワークでつまづいている児童生徒への支援を行う。  
 ②教材作成の補助・・・児童生徒が既習の復習ができるように、プリントを作ってもらおう。  
 ③英作文添削指導の補助・・・児童生徒が書いた英作文を添削してもらおう。

事業コスト  
(単位：千円)

事業費

令和3年度（決算）

令和4年度（決算）

令和5年度（予算）

4,579

3,960

3,171

特定財源

0

0

0

一般財源

4,579

3,960

3,171

区分

単位

令和3年度（実績）

令和4年度（実績）

令和5年度（見込）

取組内容及び成果

訪問数（小学校）

日

166

163

170

訪問数（中学校）

日

23

28

25

事業の課題

・外国語科担当教員等に対する研修補助や語学に関する情報提供  
 ・特別活動や部活動等への協力  
 ・地域における国際交流等への協力  
 ・その他、所属長や校長が認める職務を追加する  
 ・ALTが入れ替わる令和5年度以降に今までの授業の質を確保できるかという点

事業の評価

**B**

A 十分成果が上がっている

B 成果が上がっている

C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある

D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

有識者の所見

ALTを小学校へ総訪問日数163日、中学校へ総訪問日数28日と総数において前年度を上回る訪問回数になっている。児童生徒が生きた外国語に触れたり、国際理解教育の向上につながる大切な取り組みであると考えます。令和5年度以降はALTが入れ替わることとなりますが、引継ぎ業務を円滑に行い、今後は外国語科教員とのより一層の連携、特別活動指導、そして地域における国際交流活動等にもより活動の幅を広げられることを期待します。

事業の方向性

さらに重点化する

現状のまま継続する

見直しのうえ継続する

事業の縮小を検討する

休止・廃止を検討する

終了・完了



事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

6

事務事業名	防災教育
-------	------

事業の目的	日常生活の様々な場面で発生する災害の危険を理解し、安全な行動ができるようにするとともに、他の人々の安全にも気配りのできる児童生徒を育成する。 また予告なく発生する地震等の災害時において、柔軟に対応のできる教職員の資質を育成する。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各校が作成した防災計画や危機管理マニュアルを点検見直しを行う。</li> <li>令和2年度以降、教職員だけでなく児童生徒も参加対象に追加して、規模を拡大し防災教育講演会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策の為、中止となっている。</li> </ul>

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
	特定財源	0	0	0
	一般財源	0	0	100

区分	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)
取組内容及び成果	参加児童	人	0	0
	参加生徒	人	0	0
	参加教員	人	0	0
	参加職員	人	0	0

事業の課題	今後も毎年、防災計画や危機管理マニュアルを点検見直しを行い、活用しやすいマニュアルにしていく必要がある。また、小中高でそれぞれ行われる防災研修情報を周知することで、その研修回数を増やし教員のスキルアップにつなげるとともに、教職員だけでなく、災害時において主体的に判断し行動できる児童生徒を育成する必要がある。
-------	--

事業の評価	<p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	村教委において各校が策定した危機管理マニュアルや学校安全計画を点検するシステムが作られています。令和2年度以降「防災教育講演会」がコロナ感染拡大防止の観点から開催が見送られています。今後は教職員だけでなく、災害時において主体的に判断し行動できる児童生徒を育成されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

7

事務事業名	森林環境教育
-------	--------

事業の目的	森林内でのさまざまな活動等を通じて、人々の生活や環境と森林との関係について理解と関心を深める。
事業の内容	<p>【十津川第一小学校】                      実施日：12月6日 場所：果無私有林 実施学年：5年生                      内容：間伐体験、木工工作、自然学習</p> <p>【十津川第二小学校】                      実施日：10月18日 場所：宇宮原（講師所有の山林） 実施学年：5年生                      内容：間伐体験、木工工作、自然学習</p>

事業コスト (単位：千円)		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
	事業費	45	55	60
	特定財源	0	0	0
	一般財源	45	55	60

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	十津川第一小学校	人	6	7	5
	十津川第二小学校	人	13	6	10

事業の課題	活動を体験で終わらせるのではなく、自分と森林との関わり方を考えたり、「林業」への関心を持てるように、身の回りの自然に目を向けさせるなど継続的に活動する必要がある。
-------	---

事業の評価	<p><b>B</b></p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	森林環境教育は、間伐体験、木工工作、自然学習を行うなど、十津川村の特性を活かし、十津川の子どもたちに地域のすばらしさや誇りを培う大切な教育であると考えます。小・中学校・高等学校が連携しより一層充実されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

8

事務事業名

食育

事業の目的

食に関して興味・関心・感謝の気持ちを持ち、進んで健康づくりに努める児童生徒を育成する。

事業の内容

【絆給食】新十津川町産の食材（メロン、米）を提供し、町との関わりを学ぶ。  
 【地場産物給食】食料の生産等に対する子どもの関心と理解を深めるとともに、地産地消を進め、地域の食文化を継承する。（鹿肉を使ったからあげ、むこだましを使ったごはん等）  
 【学校給食運営委員会】各校の給食主任が食育計画・食育活動について報告を行い、情報・取組を共有して食育活動を推進している。（栄養教諭による献立説明・給食指導、食育だよりを用いた家庭との連携、行事食カードの作成、給食川柳の作成等）

事業コスト  
（単位：千円）

		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
事業費		146	186	214
	特定財源	0	0	0
	一般財源	146	186	214

取組内容及び成果

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）
絆給食	円	33,870	39,500	60,000
地場産物給食	円	112,152	146,389	154,000

事業の課題

・絆給食や地場産物給食は、新十津川町と十津川村の関わり・地域への理解や地産地消に関する理解を深める効果が期待できる取組である。  
 ・児童生徒たちが「食」に関する知識を身に付け、健全な心身を培うための「食」を選択する力を養う必要がある。

事業の評価

**B**

- A 十分成果が上がっている
- B 成果が上がっている
- C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある
- D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

有識者の所見

絆給食として、新十津川町との関わりを学ぶ郷土料理、地場産物給食として、新十津川村産のメロン・米、ジビエ料理の提供など十津川村ならではの食育が展開されています。また、学校給食運営会が開催され、各校の給食主任が食育計画・食育活動についての報告、情報・取組の共有が行われています。今後は、児童生徒たちに「食」に関する知識を身に付け、健全な心身を培うための「食」を選択する力を育成されることを期待します。

事業の方向性

- |   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> さらに重点化する             | <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する |
| <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する | <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する |
| <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する           | <input type="checkbox"/> 終了・完了      |

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

9

事務事業名	サマースクール事業
-------	-----------

事業の目的	基礎的・基本的事項の徹底を図り、体験的な学習・問題解決的な学習により、自ら学ぶ力・考える力を育て確かな学力を育成する。
事業の内容	奈良教育大学教職大学院との共催で、8月22日～24日の3日間、十津川第一小学校において実施した。新型コロナウイルス感染症拡大予防に留意しつつ、7名の教職大学院生と3名の大学教員が来村し、小学6年生の希望者（一小4名二小5名）が参加した。実施前から、ICTを活用しgoogle内のclassroomで、院生から参加児童への情報発信がなされていた。学習内容として、算数（長さや距離）・社会（地図、アースボールの活用）・英語（ショッピング世界まち歩き）・総合学習（校内お宝探し）が行われ、タブレットを利用し教科横断的な学びも取り入れられた。また7月中に奈良教育大学と一小・二小の6年生との間でオンラインによる事前交流会も行われた。

		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	12	176	345
	特定財源	0	0	0
	一般財源	12	176	345

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）
取組内容及び成果	事前交流会	人 18（小6）・9（院生）	18（小6）・4（院生）	34（小5・6）・8（院生）
	サマースクール	人 8（小6）・9（院生）	9（小6）・7（院生）	24（小5・6）・7（院生）
事業の課題	新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、以前のように小学5年生も参加対象として検討をしていく。一人一台端末をはじめとするICTの活用においては、児童個々の個人能力差から、協働的な学びの場となりにくい様子が見られた。参加児童全員が、主体的に学習に取り組み深い学びへとつながるよう、事前学習を含めて大学及び学校との連携協力を進めていく必要がある。			
事業の評価	<b>B</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	本年度は、新型コロナ感染対策を行いながら、奈良教育大学教職大学院と連携した対面式の「サマースクール」が開催されている。実施前から、google内のclassroomで、院生から参加児童への情報発信がなされている。十津川の子どもたちがさまざまな学びを経験する上で、大変意義深いものであると考えます。今後も充実発展されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

学校教育施設の管理運営に関すること

事業No.

10

事務事業名	通級指導教室
-------	--------

事業の目的	令和5年度より通級指導教室（通級による指導の場）を小中学校において設置し、特別な支援を要する子どもたちの個々の障害にあった学びの場とする。令和4年度はその設置に向け通級検討委員会を立ち上げる。
事業の内容	通級指導教室立ち上げのために、検討委員会のメンバーや小中学校の特別支援教育に関わる先生たちと共に、先進地校への視察を行った。また、県立教育研究所より指導主事を招聘し、特別支援教育さらに通級による指導に関する村内研修会を実施した。さらに十津川村における通級指導教室の設置要綱及び各種様式を作成し、教育支援委員会を経て教育委員会議において審議承認を得た。

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
	特定財源	0	0	0
	一般財源	0	0	0

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）
取組内容及び成果	通級検討委員会	回	5（先進地校視察含む）	
	村内研修会	回	1	1
	通級指導教室	校		自校方式・巡回指導

事業の課題	小学校では1人の教員による巡回指導、中学校では自校方式による指導となるが、個別の指導計画を基にした実際の指導内容が、個々の児童生徒が抱える課題の改善につながることを期待したい。そのためにも通級指導教員はもちろんのこと、管理職や通常学級担任・教科担任の特別支援教育に関する知識理解の深まりが重要となる。さらに今後も、特別な支援を要する子どもの障害のようすを把握していくための丁寧な聴き取りと、個々に応じた適切な学びの場への審議が求められる。
-------	---

事業の評価	<p><b>B</b></p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	通級指導教室立ち上げのために、検討委員会のメンバーや小中学校の特別支援教育に関わる教員が先進地校への視察を行っている。また、県立教育研究所より指導主事を招聘し、特別支援教育さらに通級による指導に関する研修会が実施されている。個別の指導計画を基にした指導等によって、個々の児童生徒が抱える課題の改善につながることを期待したい。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

学校教育施設の管理運営に関すること

事業No.

11

事務事業名	学校施設整備事業
-------	----------

事業の目的	学舎環境を整え、「村の宝」である児童生徒が充実した義務教育の修学ができるように施設整備に努める。
事業の内容	令和4年度は、以下の改修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●十津川第一小学校掲示板補修工事 584,100円</li> <li>●十津川第一小学校間仕切戸設置工 315,700円</li> <li>●十津川中学校アッテネーター増設工事 41,800円</li> </ul>

事業コスト (単位：千円)		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
	事業費	1,921	942	2,660
	特定財源		0	0
	一般財源	1,921	942	2,660

区分	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)
取組内容及び成果	十津川第一小学校	円 942,000	899,800	460,000
	十津川第二小学校	円 0	0	1,700,000
	十津川中学校	円 979,000	41,800	500,000

事業の課題	十津川第一小学校は施設の老朽化も進んでおり修繕・改修箇所が今後増える事が予想される。またバリアフリー化(多目的トイレや段差解消など)の改修対応も必要である。
-------	--

事業の評価	<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 十分成果が上がっている</li> <li>B 成果が上がっている</li> <li>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</li> <li>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</li> </ul>
-------	----------	--

有識者の所見	十津川第一小学校掲示板補修工事、十津川第一小学校間仕切戸設置工、十津川中学校アッテネーター増設工事が行われている。限られた予算の中、村教育委員会事務局の苦労も多いかと思いますが、今後も計画的に整備されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

学校教育施設の管理運営に関すること

事業No.

12

事務事業名	厨房機器整備事業
-------	----------

事業の目的	子どもたちへの安定した給食調理の実施を図る。
事業の内容	十津川第二小学校の調理場の「電気立体炊飯器」の入替を行った。 業者：株式会社 中西製作所（奈良県大和郡山市今国府町6-3）

事業コスト (単位：千円)		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
	事業費	2,195	1,265	324
	特定財源	1,900	0	0
	一般財源	295	1,265	324

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	十津川第一小学校	—	食器洗浄機・消毒保管機	給食用配膳台（2台）	
	十津川第二小学校	—		電気式立体炊飯器	
	十津川中学校	—			

事業の課題	現在も動作不良等による修繕を繰り返し使用している厨房機器が存在する。毎日の子どもたちへの安心・安全な給食を提供する調理業務に大きな支障をきたす恐れがあるため、令和5年度の厨房機器保守点検委託を通して、現状を的確に把握して今後も適切な厨房機器の入替えを行いたい。
-------	--

事業の評価	<b>B</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	十津川第二小学校の調理場の「電気立体炊飯器」の入れ替えが行われている。 子どもたちの安全・安心な給食を提供するため、限られた予算の中、村教育委員会事務局の苦勞も多いかと思いますが、今後も計画的に厨房機器整備をされることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

教職員・児童生徒の保健安全に関すること

事業No.

13

事務事業名	教職員住宅整備事業
-------	-----------

事業の目的	へき地教育振興法第3条第1項第2号の規定に基づき、へき地学校に勤務する教職員のための住宅の建築・斡旋等を行い、へき地教育の水準の向上を図る。
-------	--

事業の内容	築年	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号
	山崎	H6	H6	H6	/	/	/	/
	小原	H10	H11	H12	S46	S45	S45	S45
	折立	S45	S45	H6	H6	S32	H8	/
	平谷	H11	H12	H12	H12	H11	H4	H4
	西川	S63	S63	S41	S54	S54	H8	H8

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
	特定財源	297	0	589
	一般財源	0	0	0
		297	0	589

区分	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)
取組内容及び成果	石垣他修繕工事	住宅	折立1号・2号	
	修繕工事	宿舍		小・中学校宿舍

事業の課題	住宅の老朽化や村出身の教職員の減少により、建替や改修など早急な整備が求められている。
-------	--

事業の評価	<b>C</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	限られた予算の中、村教育委員会事務局の苦勞も多いかと思いますが、今後も計画的に教職員住宅の整備をされることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了



教職員・児童生徒の保健安全に関すること

事業No.

14

事務事業名	通学路
-------	-----

事業の目的	安心・安全な小中学生の通学路の確保
事業の内容	各学校代表、道路管理者（県・村）、警察、村営バス（スクールバス管理者）代表、保育所担当者で通学路安全推進協議会議を行い村内通学路にある危険箇所を点検し対策を行う。 <令和4年度合同点検実施箇所> 国道168号線湯之原バス停・込之上バス停・鈴入バス停・蕨尾口バス停、村道湯泉地線

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
	特定財源	0	0	0
	一般財源	0	0	0

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	点検箇所	箇所	8	5	5
	改善箇所	箇所	5	5	5
事業の課題	通学路の危険箇所は年々対策はされてきているが、物理的に無理な箇所や対策に多額の費用が必要な箇所が残ってきている。 道路改良に伴い直線箇所が増え、車やバイク等のスピードが上がり危険を感じるため対策が必要。				
事業の評価	<b>A</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である			

有識者の所見	各学校代表、道路管理者（県・村）、警察、村営バス（スクールバス管理者）代表、保育所担当者間において通学路安全推進協議会議を行い、村内通学路にある危険箇所を点検対策が行われている。令和4年度は、国道168号線湯之原バス停・込之上バス停・鈴入バス停・蕨尾口バス停、村道湯泉地線の5か所の点検実施が行われている。子どもたちの安全を確保をするうえで大切な取り組みであると考えます。高く評価します。今後も安心・安全な通学路の確保に努められることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

子育て支援に関すること

事業No.

15

事務事業名	学校保健事業
-------	--------

事業の目的	学校医及び学校歯科医、学校薬剤師等により、各学校における児童生徒、教職員の健康管理、指導を行い、子どもたち自身の保健衛生の考え方や安全等への関心を高めると共に、自己管理能力が育つよう努める。
事業の内容	学校医：巳波健一／西尾勇哉（十津川第一小学校・十津川中学校） 中川貴之（十津川第二小学校） 学校歯科医：下西誠市（全校） 学校薬剤師：山下真経（全校） 薬物乱用防止教室の実施（10月19日）／フッ化物洗口事業の実施／奈良県歯科衛生士会による歯科指導の実施（十津川第一小学校：6月14日 十津川第二小学校：6月24日 十津川中学校：7月8日） ／五條・内吉野感染症対策委員会（五條市：7月20日）

事業コスト		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
（単位：千円）	事業費	1,886	1,807	2,041
	特定財源	0	0	0
	一般財源	1,886	1,807	2,041

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	健康診断	円	1,348	1,305	1,424
	歯科検診	円	423	419	518
	歯科衛生指導	円	115	83	99
	虫歯保有率(小学生)	%	34.0	24.4	20
	虫歯保有率(中学生)	%	55.8	50	45

事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の流行を経て、今後も感染症対策や予防の指導を行うと共に、感染症対策に対応した健康診断等の実施をする必要がある。</li> <li>村の12歳児の平均虫歯本数（DMF）は県内ワーストを推移しており、今後も歯磨き指導を行うとともに、保護者に対しても歯科衛生の啓発を行っていききたい。</li> </ul>
-------	---

事業の評価	<p><b>B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 十分成果が上がっている</li> <li>B 成果が上がっている</li> <li>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</li> <li>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</li> </ul>
-------	--

有識者の所見	<p>学校医及び学校歯科医、学校薬剤師等により、各学校における児童生徒、教職員の健康管理指導が定期的に行われています。</p> <p>薬物乱用防止教室、フッ化物洗口事業、奈良県歯科衛生士会による歯科指導、奈良県歯科衛生士会による歯科指導が十津川第一小学校、十津川第二小学校、十津川中学校で行われています。村の12歳児の平均虫歯本数（DMF）がなかなか改善されない現状が続いていますが、家庭とも連携して粘り強い指導を期待します。</p>
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

子育て支援に関すること

事業No.

16

事務事業名	学校給食無償化事業
-------	-----------

事業の目的	保護者の経済的負担の軽減を図る。
事業の内容	<p>村内小・中学校に通う児童生徒の学校給食費を平成30年度より無償化している。                  (※教職員及び来校者からは給食費を徴収)</p> <p>村内では小学校2校・中学校1校にて、自校方式で調理を行い、完全給食を実施している。                  また、教育事務委託児童生徒（和歌山県新宮市立小・中学校）の保護者が負担した学校給食費の実費を補助した。</p>

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
		14,872	12,429	13,795
		特定財源	2,863	2,864
	一般財源	12,009	9,565	10,979

区分	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)	
取組内容及び成果	小学校人数	人	135	138	136
	中学校人数	人	61	68	68
	小学校年間給食数	食	190	186	190
	中学校年間給食数	食	185	188	190
	小学校給食費/日	円	323	308	335
	中学校給食費/日	円	330	325	370

事業の課題	給食用物資を納入できる業者が限られている中で、給食の栄養価やエネルギー量を維持しながらも食材費を抑える工夫が必要である。またアレルギー疾患を持つ児童生徒への代替食対応の為に特定の食材を少数納入することが難しい現状にある。
-------	--

事業の評価	<p><b>B</b></p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	<p>村内の小・中学校において自校式の完全給食が実施されています。また、給食費無償化として教育事務委託児童生徒の保護者が負担した学校給食費の実費を補助されています。これらの取組は、保護者の経済的な負担を軽減させるだけでなく、教職員の給食会計事務の負担を軽減することにもなっています。</p> <p>限られた予算の中、給食物資の確保や給食アレルギー疾患等をもつ児童生徒への対応など苦労は多いかと思いますが、今後も安心・安全な学校給食を提供されることを期待します。</p>
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

子育て支援に関すること

事業No.

17

事務事業名	通学費補助事業
-------	---------

事業の目的	保護者の経済的負担の軽減を図る。
事業の内容	<p>村内小学校2校・中学校1校の児童生徒の通学に係るスクールバス定期代を補助する。                  バス定期代については、村営バス管理主管課である総務課で通学費の補助を行っている。                  また、和歌山県新宮市へ教育事務を委託している中学生2名の通学に係るタクシー代の補助を行った。                  ※令和2年9月末をもって利用していたバス路線が廃止となった為、以降は登校・下校共にタクシーを利用することとなった。</p>

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)	
		特定財源	344	190	323
		一般財源	1,398	1,526	2,009

区分	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)	
取組内容及び成果	利用児童数	人	81	75	79
	利用生徒数	人	36	43	46
	委託児童生徒数	人	2	2	2

事業の課題	今後も通学可能な環境を維持することが必要である。
-------	--------------------------

事業の評価	<p><b>B</b></p> <p>A 十分成果が上がっている                  B 成果が上がっている                  C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある                  D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	<p>スクールバスの運行や通学費の補助を行うことは、遠距離通学の必要がある児童生徒や保護者の負担軽減する上で大切な取り組みであると考えます。新宮市へ教育事務委託している生徒に対しても通学バス定期及びタクシー代の補助がなされています。財政状況の厳しい中においても就学支援制度が維持されていることは高く評価します。今後も事業の継続をお願いします。</p>
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

子育て支援に関すること

事業No.

18

事務事業名	修学旅行費補助事業
-------	-----------

事業の目的	保護者の経済的負担の軽減を図る。
事業の内容	<p>予算の範囲内で村内小学校6年児童・中学校3年生徒の修学旅行費を全額補助した。</p> <p>【十津川連合小学校】令和4年5月24日（火）～26日（木）：京都方面</p> <p>【十津川中学校】令和4年11月13日（日）～16日（火）：四国方面</p> <p>令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策の為、公共交通機関を利用しない貸切観光バスを利用する旅程に変更した。</p>

事業コスト (単位：千円)		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
	事業費	2,593	2,889	3,004
	特定財源	0	0	0
	一般財源	2,593	2,889	3,004

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	参加児童数	人	17	17	13
	小学校引率者数	人	4	4	4
	参加生徒数	人	12	17	15
	中学校引率者数	人	4	4	4
	小学校修学旅行費	円	1,212,117	1,299,784	1,001,795
	中学校修学旅行費	円	1,381,700	1,589,277	1,697,251

事業の課題	令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策を講じた旅程に変更した。今後は社会情勢の変化を踏まえながら目的地（コロナ禍以前の広島等）を選定し、適正な修学旅行を実施できるように旅行会社・実施校と連携を図る必要がある。
-------	---

事業の評価	<b>B</b>	<p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	----------	---

有識者の所見	<p>小・中学校の修学旅行費が全額補助されています。保護者の経済的負担の軽減、子育てしやすい村づくりの観点からこれらの取り組みを高く評価したい。</p> <p>十津川連合小学校は京都方面、十津川中学校は四国方面と、令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策の為、公共交通機関を利用しない貸切観光バスを利用する旅程で修学旅行が実施されている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策による旅程変更など様々な課題があると思いますが、今後も子どもたちの安全を最優先にして修学旅行を実施されることを期待します。</p>
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

子育て支援に関すること

事業No.

19

事務事業名	にこにこキッズルーム
-------	------------

事業の目的	小学生を対象として、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものに、授業終了後や長期休業中に適切な遊び及び生活の場を与え、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、その健全な育成を図る。
事業の内容	小学生のうち、就労等で昼間子どもを見守ることができる大人がひとりもいない家庭の児童を対象に預かりを行った。学習の時間や自由遊びを行う場を提供し、保護者の就労を促進する。 ○開催日（平日）：6月1日～翌3月24日／夏期21日・冬期5日・春期4日（※土・日・祝日以外）

事業コスト (単位：千円)		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
	事業費	—	3,644	5,511
	特定財源	—		910
	一般財源	—	3,644	4,601

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	登録数（一小）	人	—	11	10
	登録数（二小）	人	—	5	8
	登録数（夏期）	人	—	32	37
	登録数（冬期）	人	—	20	26
	登録数（春期）	人	—	23	27

事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの高齢化及び人数不足により、運営が難しく事務局職員が現場に行かなければならないときが多くある。</li> <li>・特別支援学級に通う児童を受入れる体制の整備が必要である。</li> </ul>
-------	---

事業の評価	<p><b>C</b></p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	小学生を対象に、就労等で昼間子どもを見守ることができる大人がひとりもいない家庭の児童を対象に預かりが行われている。保護者の就労促進にもつながる取り組みであります。スタッフの高齢化及び人数不足、特別支援学級に通う児童を受入れる体制整備など課題は多いと考えますが、より充実されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

事務事業評価シート

子育て支援に関すること

事業No.	20
-------	----

事務事業名	就学援助
-------	------

事業の目的	児童生徒が安心して義務教育を受けることができるように、生活保護に準じる程度の経済的困難者に対し支援を行う。
-------	---

事業の内容	要保護や準要保護と認められた児童生徒の学用品費の補助を行う。 令和4年度は要保護、準要保護ともに対象者なし。
-------	---

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
		78	0	199
		特定財源	18	0
	一般財源	60	0	199

区分	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)	
取組内容及び成果	要保護児童生徒数	人	1	0	0
	準要保護児童生徒数	人	0	0	4

事業の課題	支援が必要な保護者等が適切な援助を受けられるように制度の周知や学校との連携を図る必要がある。
-------	--

事業の評価	<b>B</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	要保護・準要保護児童を対象に学用品費などの補助事業が用意されています。今後、制度の周知や学校との連携を密にして全ての子どもたちが経済的に安心して通学できるよう、今後も支援されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

21

事務事業名	奨学資金貸付事業
-------	----------

事業の目的	向学心に富んだ高等学校以上の生徒や学生に対し、奨学金を貸与する。
事業の内容	<p>新規の貸与者はなし。</p> <p>【令和4年度実績】</p> <p>月30,000円 貸与3名</p> <p>月20,000円 貸与1名</p>

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
		2,280	1,800	1,800
		特定財源	2,181	1,800
	一般財源	99	0	0

区分	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)	
取組内容及び成果	貸付額	千円	2,280	1,320	1,800
	現年度償還額	千円	1,660	1,540	1,710
	過年度償還額	千円	320	945	700
	新規貸与者	人	1	0	4
	償還滞納者	人	10	7	6
	償還滞納額	千円	2,075	1,550	1,840

事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納者に対する徴収の強化。</li> <li>・年々借入者が少なくなっているため効果的な広報が必要である。</li> </ul>
-------	--

事業の評価	<p><b>C</b></p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	<p>向上心に富んだ高校生以上の生徒や学生に対しての奨学金を貸与する事業が用意されています。滞納者に対する徴収、奨学金制度を活用するための効果的な広報の在り方検討など課題はありますが、今後も充実されることを期待します。</p>
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了



事務事業評価シート

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.	22
-------	----

事務事業名	社会教育委員
-------	--------

事業の目的	村民の生涯学習への意識を深め、学習意欲を醸成するため社会教育活動、並びに学習体系づくりの推進。特に乳幼児家庭教育学級を支援し、家庭における教育力の向上を図る。
-------	---

事業の内容	社会教育委員（任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日）議長1名、副議長1名、委員4名 社会教育委員の主な活動：定例会議（年6回）／乳幼児家庭教育学級の開催／文化祭や各村内行事への参加／奈良県社会教育委員連絡協議会・奈良県社会教育研究大会・奈良県社会教育学校への参加 ※家庭教育： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
-------	---

事業コスト (単位：千円)		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
	事業費	685	704	827
	特定財源	0		
	一般財源	685	704	827

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）
取組内容及び成果	定例会議	回	5	6

事業の課題	家庭教育、乳幼児家庭学級では人が集まらないため、周知の仕方や広報を工夫する。
-------	--

事業の評価	<p><b>B</b></p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である。</p>
-------	--

有識者の所見	社会教育委員の定例会議（年6回）が開催されるとともに、乳幼児家庭教育学級の開催、文化祭や各村内行事への参加、県内各種大会等に積極的に参加しています。今後は、家庭教育、乳幼児家庭学級等の周知・広報の在り方について検討されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

23

事務事業名	乳幼児家庭教育学級
-------	-----------

事業の目的	子育てに関わる全ての人や乳幼児を抱える保護者と乳幼児を対象とした教室を開催し、安心して子育てできるよう専門家等からの基礎知識を培う。また、保護者の育児ストレスを軽減し、楽しく育児ができるきっかけとなるような教室を行う。
事業の内容	7/14 事故等に対応した救命講習・五條消防署十津川分署内見学（五條消防署十津川分署） 10/28 歯みがき指導（奈良県歯科衛生士会）十津川テレビで撮影し放送

事業コスト		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
（単位：千円）	事業費	28	33	105
	特定財源	0		
	一般財源	28	33	105

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	参加者数（保護者）	人	6	8	10
	参加者数（幼児）	人	1	4	10

事業の課題	乳幼児家庭教育学級の参加人数が少ないため、母子保健事業の「村っこ広場」や保育所などと連携して、子どもの実態や地域の実態に合わせた教室を行うが、前年度のように十津川テレビで放送したり、YouTubeなどで録画したものをいつでも見れるようにするほうが広く周知できると思います。
-------	--

事業の評価	<b>C</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	事故等に対応した救命講習・五條消防署十津川分署内見学、歯みがき指導（奈良県歯科衛生士会）を十津川テレビでの撮影放送が行われています。今後は、これらの取組の周知の在り方について、より検討されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

24

事務事業名	新十津川町との交流事業
-------	-------------

事業の目的	新十津川町の児童生徒及び青年と、村の児童生徒及び青年の交流を行うことで、若者が十津川村の歴史と先人たちが築いた新十津川町の歴史を学びあい、互いの絆の結びつきを強める機会を創出する。
事業の内容	①新十津川町小中学校の児童生徒の、十津川村の児童生徒との交流及び研修 令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により新十津川町児童生徒の母村訪問研修事業が中止となったが、今回初めての試みでオンラインによる交流会（両町村の学校紹介など）を実施した。  ②新十津川町青年と十津川村青年の交流事業 ※新十津川町への訪問と受入を隔年で行っている。

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
	特定財源	0	0	1,176
	一般財源	0	0	0
		0	0	1,176

区分	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)	
取組内容及び成果	①参加者数	人	0	0	34
	①事業費	千円	0	0	926
	②参加者数	人	0	5	5
	②事業費	千円	0	488	250

事業の課題	研修内容については前回は踏襲したものがベースとなるが、参加者の希望に応じた行先の変更や、新しくできた施設の見学など、見直しをしながら立案し、より有意義な研修となるようにしたい。今後、コロナの影響により交流事業が困難な場合においては、オンラインによる交流も検討が必要。
-------	---

事業の評価	<b>B</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、「新十津川町小・中学校の児童生徒の十津川村の児童生徒との交流及び研修」が中止になっていますが、オンラインによる交流会（両町村の学校紹介など）が実施されています。また、「新十津川町青年と十津川村青年の交流事業」は令和5年2月に実施されています。十津川村及び新十津川町の児童生徒・若者が互いの絆の結びつきを強める大切な機会になっています。今後も新型コロナ感染対策を講じ、より充実した内容になることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

25

事務事業名	成人式式典事業
-------	---------

事業の目的	新成人対象とした式典や記念講演を行い、新成人をお祝いすると同時に、成人としての自覚と新たな決意を持ってもらう。
-------	---

事業の内容	日時	令和5年1月3日(火)
	場所	十津川村住民ホール
	参加者	19名(対象者25名)
	記念講演	演題 「ダイバシティ社会を創造する音楽のチカラ」 講師 一般社団法人未来のチカラ育成協会 エンタメ事業部門「KKTOWN」 所属アーティスト シンガーソングライター TAON(タオン)氏

事業コスト (単位:千円)		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
	事業費	450	450	500
	特定財源	0	0	0
	一般財源	450	450	500

区分	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)
取組内容及び成果	新成人対象者	人	24	25
	新成人参加者	人	17	19

事業の課題	成人対象年齢が18才となるが、20才を迎える歳に成人式を行う事の周知が必要。
-------	--

事業の評価	<b>A</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	新成人対象とした式典や記念講演がシンガーソングライター TAON(タオン)氏を招いて開催されています。新型コロナウイルス感染の中、様々な工夫を凝らしながら開催されたことを高く評価したいと思います。今後も新型コロナウイルス感染対策を講じながら、参加者の安全・安心を確保し、無理のないかたちで開催されることを希望します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

26

事務事業名	公民館事業
-------	-------

事業の目的	地域の住民の集う施設として、生活文化の振興や社会福祉の増進等に寄与することを目的とする。
-------	--

事業の内容	<p>教育委員会が管轄している公民館は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十津川村公民館上野地分館</li> <li>・十津川村迫西川地区公民館</li> <li>・十津川村小井地区公民館</li> <li>・十津川村谷垣内地区公民館</li> </ul>
-------	--

事業コスト (単位：千円)		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
	事業費	28	107	1,518
	特定財源	0		
	一般財源	28	107	1,518

区分	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)
取組内容及び成果				

事業の課題	<p>迫西川地区公民館は集落から2km近く離れており、設置地区には8軒と少なく公民館の利活用、避難場所としても誰も使用していない状況である。</p> <p>現在、公民館を地元へ払下げる予定で総代、施設を含め話し合いをしている。</p>
-------	---

事業の評価	<p><b>B</b></p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	<p>公民館は生活文化の振興や、社会福祉そして社会教育活動を行う拠点としても重要な施設であると考えます。迫西川地区公民館は設置場所の関係もあり利活用に課題があります。今後より一層有効な活用方策について検討されることを期待します。</p>
--------	--

事業の方向性	<p><input type="checkbox"/> さらに重点化する</p> <p><input type="checkbox"/> 現状のまま継続する</p> <p><input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する</p> <p><input type="checkbox"/> 終了・完了</p>
--------	--

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

27

事務事業名	のら文庫
-------	------

事業の目的	社会的な情報や文化的な知識を、村民が必要とする際に提供できる「知的」公共サービス事業として、子育て世代や子どもたちへの絵本や図鑑等を通した初等教育や村内生活の豊かな場となるよう運営を行う。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者への図書の貸出・返却</li> <li>・配架・整理、蔵書確認、返却延滞への対応</li> <li>・「村報」等広報誌を活用した新着図書紹介や特集</li> <li>・話題の図書や要望の高い書籍の購入</li> </ul>

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
	特定財源	509	587	603
	一般財源	0	0	0
		509	587	603

区分	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)	
取組内容及び成果	延べ利用者数	人	727	853	740
	延べ貸出冊数	冊	3,144	3,259	2,700
	購入図書数	冊	231	278	350

事業の課題	<p>図書サービスをより充実させるための図書スペースが不足している。</p> <p>1.図書の充実のため、配架スペースの増設または利用本棚の検討</p> <p>2.村民がほしい本を開架図書から探すための検索システム</p> <p>3.親子や閲覧者が図書を利用できる椅子や机がある閲覧スペース</p>
-------	---

事業の評価	<p><b>B</b></p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	<p>村内に図書館施設がない状況で、コロナ禍においても利用者数約8百人強、貸出冊数約3千2百冊と前年度より村民の利用が増えています。今後は、閉架スペースの設置、図書の検索システムの充実、閲覧スペースの充実を図るなど、よりよい運営の在り方をより検討されることを期待します。</p>
--------	---

事業の方向性	<p><input type="checkbox"/> さらに重点化する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する</p> <p><input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する</p> <p><input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する</p> <p><input type="checkbox"/> 終了・完了</p>
--------	--

文化施設の管理運営に関すること

事業No.

28

事務事業名	社会教育関係等団体指導育成事業
-------	-----------------

事業の目的	十津川村の社会教育関係団体の健全な育成を図り、社会教育の振興に資する。
事業の内容	下記の団体に補助金を交付している。※令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により満足に活動を行えなかった団体が多い。 十津川村青年団／十津川村婦人会／十津川村子ども会連絡協議会／十津川村PTA協議会／十津川村人権教育推進協議会／十津川村文化協会／古民舞保存継承団体（武蔵踊保存会）／小原踊り保存会／平谷餅搗き踊り保存会／西川大踊り保存会／出谷踊り保存会／小原子ども会／西川子ども連合会／十津川村体育協会／十津川剣道クラブ／南十津川少年剣道クラブ

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
	特定財源	2,352	3,530	7,123
	一般財源	0		
		2,352	3,530	7,123

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	青年団	円	64,802	275,928	655,000
	婦人会	円	131,933	271,007	860,000
	子ども会連絡協議会	円	0	0	900,000
	PTA協議会	円	129,122	345,538	448,000
	人権教育推進協議会	円	103,765	475,106	690,000
	文化協会	円	613,732	612,387	630,000
	武蔵踊保存会	円	0	0	180,000
	小原踊り保存会	円	92,686	55,879	180,000
	平谷餅搗き踊り保存会	円	168,197	171,309	180,000
	西川大踊り保存会	円	163,322	166,710	180,000
	出谷踊り保存会	円	0	0	180,000
	小原子ども会	円	0	0	0
	西川子ども連合会	円	39,962	39,910	40,000
	体育協会	円	798,851	628,266	1,000,000
	十津川剣道クラブ	円	0	0	1,000,000
	南十津川少年剣道クラブ	円	44,730	0	0
新十津川町青年団研修生受入	人	0	488,286	0	

事業の課題	適正な補助を行う。
-------	-----------

事業の評価	<b>B</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

## 事務事業評価シート

有識者の所見	十津川村青年団、十津川村婦人会、十津川村子ども会連絡協議会、十津川村PTA協議会、十津川村人権教育推進協議会、十津川村文化協会など各種団体に補助金が交付されている。、新型コロナウイルス感染症の影響により活動に支障がある団体もあるようですが、今後も充実されることを期待します。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了



事務事業評価シート

文化施設の管理運営に関すること

事業No.

29

事務事業名	歴史民俗資料館
-------	---------

事業の目的	民俗資料及び歴史資料等を総合的に保存、活用し、もって郷土の歴史と文化財に対する住民の知識と理解を深めることを目的とする。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史民俗資料館の開館（9:00～17:00まで 火曜・年末年始休館）</li> <li>・資料の寄贈受付及び保管</li> <li>・収集資料の記録・整理作業</li> </ul>

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
	特定財源	8,946	11,177	10,110
	一般財源	287	417	525
		8,659	11,594	10,635

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	入館者数	人	1,035	1,543	1,750
	入館料収入	円	286,800	417,330	525,000

事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村の歴史や資料を活用した展示や図録刊行、HP等の情報公開を充実（村内外への周知活動を活発に行い、来館者やwebでの利用者を増やす）</li> <li>・掲載情報が古く、在庫が切れているパンフレットの刷新が急務</li> </ul>
-------	---

事業の評価	<p><b>C</b></p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	<p>十津川村の民俗について気軽に知識や興味を深める機会としての役割を担っている施設であると考えます。村の歴史や資料を活用した展示や図録刊行、HP等の情報公開を充実、パンフレットの刷新などの課題について取り組み、より充実されることを期待します。</p>
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

文化施設の管理運営に関すること

事業No.

30

事務事業名	教育資料館
-------	-------

事業の目的	廃校に保管されていた教育資料を総合的に保存、活用し、もって郷土の歴史と文化財に対する住民の知識と理解を深めることを目的とする。
事業の内容	教育資料の保存・整理 4月～11月の第2・第4日曜日（10:00～16:00）に無料開放している。

		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	38	50	54
	特定財源	0	0	0
	一般財源	38	50	54

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	入館者数	人	37	54	50

事業の課題	教育資料（展示品）の整理及びその活用と、来館者が少ない理由として施設の認知度が低いことが考えられるため、歴史民俗資料館と併せてPRが必要。
-------	---

事業の評価	<b>C</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	教育資料館は、地域の人々に十津川村の歴史・文化財に対する理解を深めてもらう重要な施設であると考えます。令和4年度の年間入館者数が、前年度より増えてはおりますが、多い人数とは言えません。今後保存・整理、展示、そして周知方法等について、より一層検討されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

文化施設の管理運営に関すること

事業No.	31
-------	----

事務事業名	山村生産用具収蔵庫
-------	-----------

事業の目的	十津川郷における生業に関する用具を収集した、国指定重要有形文化財「十津川郷の山村生産用具」3,174点の整備・保護を行い、十津川郷において営まれてきた山村生産の実態と変遷を後世に伝えていく。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「十津川郷の山村生産用具収蔵庫」収蔵物の点検、及び虫害防止のための燻蒸・トラップ調査</li> <li>・村内学校等による見学への対応</li> </ul>

事業コスト (単位：千円)		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
	事業費	861	1,637	1,024
	特定財源	0	0	0
	一般財源	861	1,637	1,024

区分	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)
取組内容及び成果	燻蒸委託料	円	740,300	845,000
	燻蒸回数	回	1	1
	トラップ調査	回	3	6

事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国指定文化財(民具)の状態調査とデータ作成</li> <li>・村内保管場所不足による、指定民具以外の収蔵物の移動</li> <li>・収蔵庫内の一般公開準備と公開の実施</li> <li>・収蔵庫内の温湿度管理による環境改善</li> </ul>
-------	--

事業の評価	<p><b>C</b></p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	<p>国指定重要有形文化財「十津川郷の山村生産用具」は、十津川村の先人たちから引き継がれた貴重な文化財であり、後世に残す義務があると思います。国指定文化財(民具)の状態調査とデータ作成、収蔵庫内の一般公開準備と公開の実施、収蔵庫内の温湿度管理による環境改善などいくつかの課題もあると考えます。今後も国と連携し整備・保護されることを期待します。</p>
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了

文化財の保護に関すること

事業No.	32
-------	----

事務事業名	むかし館
-------	------

事業の目的	道の駅「十津川郷」の地下階で民俗資料を展示し、十津川村の民俗について気軽に知識や興味を深める機会を設ける。
事業の内容	民俗資料を展示し、施設を無料開放している。

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
	特定財源	0	0	0
	一般財源	0	0	0

区分	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)
取組内容及び成果				

事業の課題	道の駅「十津川郷」内の施設であるため、道の駅と合意形成をした上での活用が必要 訪問者数が少なく、維持管理も不十分であるため、展示を縮小する形で進めている。 ※現在2部屋使用していますが、1部屋に収める。
-------	---

事業の評価	<b>C</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	十津川村の民俗について気軽に知識や興味を深める機会としての役割を担っている施設であると考えます。入館者数が少なく十分な役割を果たしているとは言えない状況にあります。道の駅「十津川郷」内の施設であるため、道の駅とも合意形成を行い、可能な範囲でよりよい展示内容について検討されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

文化財の保護に関すること

事業No.

33

事務事業名	文化財保護審議委員
-------	-----------

事業の目的	教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査、審議をするとともに、これらの事項に関して教育委員会に建議する。
事業の内容	文化財保護審議委員：片山武夫・下野拓也・吉見真理子・岡修一（令和4年6月30日まで） 下野拓也・岡修一・森麻美・大谷芳史（令和4年7月1日から） （委員の任期：2年） ※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により十津川村文化財保護審議会を中止

		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	35	0	89
	特定財源	0	0	0
	一般財源	35	0	89

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	審議会議	日	2	0	2

事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は新たに文化財の登録はなし。</li> <li>・玉置神社には多くの文化財（建築物）があり、この多くは腐朽・損傷がみられることから今後の修理・保存・管理方法について議論が必要。</li> </ul>
-------	--

事業の評価	<p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	文化財保護審議委員会が設置されています。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により十津川村文化財保護審議会が開催されていませんが、今後は感染対策も講じながら、玉置神社をはじめ十津川村が有する文化財の保存及び活用について審議し、文化財保護に努められることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

文化財の保護に関すること

事業No.

34

事務事業名	カモシカ保護事業
-------	----------

事業の目的	狩猟用のくくり罠に捕らわれてしまったり、獣害防止ネットに絡まって自力で脱出できなくなったカモシカ（国の特別天然記念物）を保護するため、獣の扱い等専門知識を有している猟友会に業務を委託し、カモシカの安全かつ適正な保護に努める。
事業の内容	委託先：猟友会十津川支部 委託料：1回7,000円/人 ※保護に当たっては安全性を考慮し2名での対応。 ※既に死亡しているカモシカについては事務局職員で対応。

事業コスト (単位：千円)		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
	事業費	900	420	700
	特定財源	0	0	0
	一般財源	900	420	700

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	保護頭数	頭	30	30	50

事業の課題	令和元年度に事業を開始してから、カモシカの保護件数が多く感じる。これまでは15,000円/人であり積極的に錯誤確保する恐れもあること、令和4年度から7,000円/人に減額とした。これでも同一箇所での錯誤捕獲が目立つようであれば、委託金額の再度見直しも検討する必要がある。
-------	---

事業の評価	<b>C</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	国の特別天然記念物に指定されているカモシカを保護することは重要な役割です。猟友会十津川支部とも連携し、保護後の報告の在り方など事業の運営内容については、更に検討されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

歴史・文化・芸術の振興に関すること

事業No.

35

事務事業名	文化財保存整備事業
-------	-----------

事業の目的	十津川村指定文化財の保存及び修復に必要な補助事業や修繕事業を計画的に実施し、保全・活用に努める。
事業の内容	玉置神社国宝重要文化財改修費補助 8,184千円 (R3:繰越1,340千円、R4:6,844千円) 大峯奥駈道史跡改修工事補助 (玉置神社) 1,750千円 防火設備保守点検補助 (玉置神社・瀬ホテル・辻家住宅) 131千円 県指定天然記念物保全整備費補助 (杉の巨樹群) 819千円 文化財火災・地震保険補助 (玉置神社) 412千円

事業コスト (単位：千円)		令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)	令和5年度 (予算)
	事業費	14,737	11,296	34,423
	特定財源	0	0	0
	一般財源	14,737	11,296	34,423

区分	単位	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (見込)	
取組内容及び成果	国指定文化財補助	件	3	2	1
	県指定文化財補助	件	4	3	4
	村指定文化財補助	件	4	2	3

事業の課題	玉置神社社務所及び台所 (重要文化財) の大規模改修など、次世代に継承するための修繕等に係る予算の確保 玉置神社の石垣整備の指針となる史跡大峯奥駈道保存活用計画を策定する必要がある。
-------	--

事業の評価	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	--

有識者の所見	令和4年度において、玉置神社国宝重要文化財改修費補助、大峯奥駈道史跡改修工事補助、防火設備保守点検補助、県指定天然記念物保全整備費補助、文化財火災・地震保険補助等が行われています。 重要文化財でもある玉置神社社務所及び台所の大規模改修の予算確保、玉置神社の石垣整備の指針となる史跡大峯奥駈道保存活用計画を策定などの課題はあるかと思いますが、今後も国及び県とも一層連携し、計画的に文化財の保存に努められることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

歴史・文化・芸術の振興に関すること

事業No.

36

事務事業名	歴史・文化講座
-------	---------

事業の目的	村内の幅広い世代に参加者を募り、講座を通して、地域の歴史や文化に愛着や誇りを感じてもらい、保全・伝承及び地域振興の活力につなげる。
-------	---

事業の内容	令和4年6月19日(日) 『梅雨のキノコ観察会』/講師:佐野 修治 氏 ※雨天により18日(土)から19日(日)に変更 令和4年12月17日(土) 『フラワーアレンジメント教室』/講師:栗栖 直子 氏 令和5年 3月25日(土) 『早春の植物観察会』/講師:尾上 聖子 氏
-------	---

		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
事業コスト (単位:千円)	事業費	59	122	116
	特定財源	16	5	16
	一般財源	43	117	100

区分	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)	
取組内容及び成果	歴史/参加者数	人	0	0	20
	自然/参加者数	人	0	27	30
	体験/参加者数	人	20	17	20

事業の課題	コロナ後の社会変化を見据えて、以前のような対面での事業実施を再開し、より多くの村民等に十津川村の歴史や文化、自然の魅力を知ってもらえるきっかけを提供していく必要がある。特に歴史講座は数年開催できていないことから、実施できるように検討をしていきたい。
-------	--

事業の評価	<b>C</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	「梅雨のキノコ観察会」、「フラワーアレンジメント教室」、「早春の植物観察会」が新型コロナウイルス感染対策を図りながら開催されています。今後も「歴史講座」などについても新型コロナウイルス感染対策を図りながら、オンライン及び対面の両面から開催の在り方について検討されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--



事務事業評価シート

歴史・文化・芸術の振興に関すること

事業No.

37

事務事業名	文化祭
-------	-----

事業の目的	村で行われている文化活動を地域に根付かせ、その振興と発展に寄与すること。また、文化祭を通して、村民同士がふれあう機会を持つことにより、交流の場を創出する。
事業の内容	令和4年度 第42回 十津川村文化祭 実施期間：令和4年11月3日(9:00~12:40)・11月5日(10:00~16:00)・11月6日(10:00~15:00) 参加団体数：展示部門 23団体・個人 バザー部門 11団体・個人

		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
事業コスト (単位：千円)	事業費	129	749	1,198
	特定財源	0		
	一般財源	129	749	1,198

区分	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)
舞台部門	団体・個人	—	11	6
	展示部門	25	23	17
	バザー部門	8	3	6

事業の課題	3日間に渡り文化祭を行ったが賛否両論がありました。 遠い地区の方は1回で済ませて欲しいという声が多く、近い地区の方は長く続けて欲しいという声が多かった。しかし、準備期間も長くなるため演者、出展者の負担も大きくなるため今後の課題です。
-------	---

事業の評価	<b>B</b> A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	--

有識者の所見	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、舞台部門、展示及びバザー部門の開催が行われています。「文化祭」は、村で行われている文化活動を根付かせること、村民同士が触れ合う機会を持つ大切な事業であると考えます。開催日数など開催の在り方についてより検討されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

歴史・文化・芸術の振興に関すること

事業No.

38

事務事業名	村史編さん事業
-------	---------

事業の目的	令和2(2020)年に置村130年をむかえるにあたり、村民意識の高揚を図り、郷土への理解と愛着を深めるため、約60年ぶりに自治体史の編さんを行い、先人が築き発展させてきた想いと歴史を次代に継承し、貴重な遺産を十津川村の創造に繋げる。
-------	--

事業の内容	<p>歴史・民俗・自然・地理の4つの部会に分けて次の方針により調査・研究・執筆を行う。</p> <p>(1) 十津川村の歩みを、様々な角度からアプローチして記録する。</p> <p>(2) 地域に埋もれている未発見の史資料を掘り起こし、保存・活用する。</p> <p>(3) 事業の過程で蓄積された資料、調査・研究の成果を事業終了後も充分に活用する。</p> <p>『歴史資料編(近世2)』、『自然資料編』の刊行</p>
-------	--

		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
事業コスト (単位:千円)	事業費	7,344	8,813	12,804
	特定財源	1,793	684	865
	一般財源	5,551	8,129	11,939

区分	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)	
取組内容及び成果	刊行物	歴史資料編(近世1)	歴史資料編(近世2) 自然資料編	歴史資料編(近現代)	
	地理・自然編販売部数	部	792	61	20
	資料編近世1販売部数	部		337	20
	資料編近世2販売部数	部			330
	自然資料編販売部数	部			330
	資料編近現代販売部数	部			250

事業の課題	コロナ禍で事業に影響が出ていたが、緩和されたことに鑑みて、積極的かつ柔軟に外部調査や対面・オンライン打合せ等を行い、編さん委員の先生方と、村史刊行まで引き続き密に連携を取っていくことが要となる。また村史の刊行と並行して、各分野のデジタルアーカイブサイトも充実させていく必要がある。
-------	--

事業の評価	<p><b>B</b></p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	歴史・民俗・自然・地理の4つの部会に分かれて調査・研究・執筆が行われています。令和4年度は、「歴史資料編(近世2)」、「自然資料編」の刊行が行われています。今後も先人が築き発展させてきた思いを次世代に継承するためにもよりよい村史の編さんを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

社会体育施設の管理運営に関すること

事業No.

39

事務事業名	体育文化センター
-------	----------

事業の目的	村民がスポーツ活動や文化活動を行う場として開放することにより、村民の健康増進や生涯学習の推進、村民同士の交流の深化を目指す。
事業の内容	会計年度任用職員（3名）で管理及び清掃等を行い、村内の社会体育団体等に施設や備品の貸与を行っている。そのほか、文化祭や講演会の会場としても使用されている。 ※村内の社会体育団体等については使用料を免除 令和4年度は、地下出入口スロープ修繕工事及び舞台装置修繕工事等を実施した。

		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	15,145	6,859	3,481
	特定財源	10,000	7	10
	一般財源	5,145	6,852	3,471

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	利用者数	人	2,084	3,357	2,500
	使用料収入	円	0	7,700	10,000
	人件費	円	740,093	1,143,904	1,249,500
	施設維持修繕	円	12,217,326	1,715,514	250,000
	消費電力	kWh	49,261	39,441	36,000
	電気代	円	1,904,913	1,537,997	1,440,000

事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化により優先度をつけて順次修繕する必要がある。</li> <li>非常用発電機の動作不良が確認されているため、早期の修繕が必要である。</li> <li>舞台装置の動作不良が頻繁に発生しており、根本的な解決が求められる。</li> </ul>
-------	---

事業の評価	<p><b>B</b></p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	「体育文化センター」は、村内の社会体育団体等に施設や備品の貸与、文化祭や講演会の会場としても使用されるなど、村民の健康増進や、生涯学習の推進、村民同士の交流の場として大切な施設であると考えます。前年度と比べ利用者が大幅に増加しています。施設の老朽化など施設の管理・修繕等において課題がありますが、スポーツや文化において村民によりよい環境を提供されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

社会体育施設の管理運営に関すること

事業No.

40

事務事業名	十津川村民ひろば
-------	----------

事業の目的	村民がスポーツ活動や文化活動を行う場として開放することにより、村民の健康増進や生涯学習の推進、村民同士の交流の深化を目指す。
事業の内容	会計年度任用職員（2名）で管理及び清掃を行い、村内の社会体育団体等に施設や備品の貸与を行っている。そのほか、幼児の集団保育や講演会の会場としても使用されている。 ※村内の社会体育団体等については使用料を免除

		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	1,488	1,095	7,511
	特定財源	0	0	10
	一般財源	1,488	1,095	7,501

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）
取組内容及び成果	利用者数	人	969	1,369
	使用料収入	円	0	0
	人件費	円	314,172	395,009
	施設維持修繕	円	65,010	2,640
	消費電力	kWh	21,618	15,900
	電気代	円	681,424	548,733

事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化により優先度をつけて順次修繕する必要がある。</li> <li>照明に水銀灯を使用しているため、近年中に交換が必要である。</li> </ul>
-------	---

事業の評価	<p><b>B</b></p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	「十津川村民ひろば」は、村民の健康増進や、生涯学習の推進、村民同士の交流の場として大切な施設であると考えます。前年度と比較し利用者が大幅に増加しています。今後も施設の修繕・維持に努められることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了

スポーツの振興に関すること

事業No.

41

事務事業名	スポーツ推進委員
-------	----------

事業の目的	スポーツイベントの円滑な進行や、村民のスポーツ参加による健康増進等を図る。
-------	---------------------------------------

事業の内容	<p>スポーツ推進委員 9名（男6名・女3名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃のスポーツ活動や、各種研修への参加を通じて、村のスポーツ振興に努める。</li> <li>・スポーツイベントの企画、検討及び運営を行う。</li> </ul> <p>シルバー運動会（6月22日）／チャレンジスポーツin十津川（10月23日）／十津川村駅伝大会（1月8日）／産業課所管島の郷マラソン大会（中止）</p>
-------	--

		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	773	781	963
	特定財源	0	0	0
	一般財源	773	781	963

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	スポーツ推進委員会議	回	4	4	4
	駅伝大会関係会議	回	5	5	4
	県協議会研修等参加人数	人（延べ）	4	10	15

事業の課題	各種スポーツイベントが徐々に再開し始めたが、まだ新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ推進委員の活躍の機会が奪われている。
-------	---

事業の評価	<p><b>B</b></p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	スポーツ推進委員は、スポーツイベントの円滑な進行や、村民のスポーツ参加による健康増進等において重要な役割を担っていると考えます。令和4年度において、シルバー運動会、チャレンジスポーツin十津川十津川村駅伝大会など徐々にスポーツイベントが再開されています。スポーツ推進委員の活用の在り方についてもより一層検討されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

スポーツの振興に関すること

事業No.	42
-------	----

事務事業名	スポーツ・文化大会等出場者奨励事業
-------	-------------------

事業の目的	アマチュア競技の全国大会等に出場する個人又は団体に対し、奨励金を交付することにより、本村のスポーツ及び文化の振興を図る。
事業の内容	全国大会に出場する者に対し、1人あたり3万円（チームの場合15万円が上限）を交付する。

事業コスト (単位：千円)		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
	事業費	0	30	180
	特定財源	0	0	0
	一般財源	0	30	180

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	交付者数	人	0	1	6

事業の課題	令和4年度は1件の申請がありましたが、スポーツ・文化大会等出場者奨励事業の補助があることが多く知られていないため、広く広報を行う。
-------	---

事業の評価	<b>B</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	アマチュア競技の全国大会等に出場する個人又は団体に対し、奨励金を交付するスポーツ・文化大会等出場奨励事業は村内のスポーツ及び文化の振興に意義のあるものと考えます。令和4年度は交付対象が1名となっています。今後も剣道をはじめとするスポーツ及び文化活動を支援されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

スポーツの振興に関すること

事業No.

43

事務事業名	チャレンジスポーツin十津川
-------	----------------

事業の目的	誰でも参加できるスポーツイベントとして、村民がスポーツに親しみ、体を動かすきっかけを創出する。
事業の内容	陸上記録会とレクリエーション競技を半日のスケジュールで行う。学校行事とは切り離し、参加したい人が参加したい競技にだけ参加できる方式とする。 ・陸上競技会（50m走・ボール投げ・走り幅跳び） ・レクリエーション記録会（ホールインワン・輪投げ・くつ飛ばし）

事業コスト (単位：千円)		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
	事業費	71	65	92
	特定財源	0	0	0
	一般財源	71	65	92

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	参加者	人	30	41	70

事業の課題	令和3年度から始めたイベントで、今後村民の認知度や参加意欲を得るための工夫が必要である。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、人数制限をしている状況。
-------	--

事業の評価	<b>B</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	「チャレンジスポーツin十津川」は村民が気軽にスポーツに親しむことができ、村民の健康・体力維持にも寄与する事業であると考えます。令和4年度は、陸上競技会とレクリエーション記録会が開催され、人数制限中ではありますが、参加者も前年度と比較しても増加しています。今後も新型コロナウイルス感染対策を行うとともに、村民への周知方法等についても検討されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

スポーツの振興に関すること

事業No.

44

事務事業名	駅伝大会
-------	------

事業の目的	村のスポーツ振興と村民の親睦を図るとともに、村の一層の発展と活力ある村づくりに資する。
事業の内容	<p>上野地⇄西川間の37.6kmを8区間で繋ぐ駅伝大会を開催する。                  令和4年度は第69回大会にあたり、令和5年1月8日（日）10:00より、上野地スタート・西川ゴールで開催した。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症対策として、村内在住・在勤者のみを対象として開催し、開会式・閉会式は行わないなどの対応をとった。</p>

事業コスト (単位：千円)		令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（予算）
	事業費	1,179	1,604	3,792
	特定財源	39	48	163
	一般財源	1,140	1,556	3,629

区分	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
取組内容及び成果	出場チーム数	チーム	13	16	40
事業の課題	新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小しての開催となった。今後は新型コロナウイルス感染症の動向をみながら、多くの参加者を確保するためオープンチームの参加を再開できるようにしていきたい。				
事業の評価	<b>B</b>	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である			

有識者の所見	村のスポーツ振興と村民の親睦を図るとともに、村の一層の発展と活力ある村づくりに資する「駅伝大会」は意義高い事業であると考えます。今後も新型コロナウイルス感染症対策を行い、オープンチームの参加など開催の在り方を検討されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了



#### IV. 点検・評価のまとめ

- (1) 点検・評価を行った令和4年度の主要な事務事業の今後の方向性について、集計結果は以下のとおりです。

事務事業の方向性	件数
さらに重点化する	2件
現状のまま継続する	25件
見直しのうえ継続する	14件
事業の縮小を検討する	2件
休止、廃止を検討する	1件
終了・完了	0件

- (2) 有識者からの意見（総評）

所期の目的を達し全般的に順調に事業の執行が行われていると考えます。

特に、学校教育・社会教育等に関わる「特別支援教育」「スクールカウンセラー派遣事業」「学校施設整備事業」「通学路事業」「成人式典事業」においては当初の目的を達成し、大きな成果を得ています。高く評価します。

また、村独自の「学校給食無償化事業」「通学費補助事業」「修学旅行費補助事業」などは、保護者の子育てを経済的に支援し、子どもたちが安心して教育を受けることができる大切な事業であると考えます。村民に寄り添った教育行政が進められており、高く評価するとともに、今後も継続・発展されることを望みます。

「歴史民俗資料館」「教育資料館」「山村生産用具収蔵庫」「むかし館」などの十津川村の歴史・文化に関わる施設が複数村内に設置されていますが、これらの施設は十津川村の歴史・文化等を後世に継承する役割等を担っているだけではなく、村内外に十津川のすばらしさを発信する重要な施設であると考えます。ただ、展示内容及び維持管理等の観点において課題がある施設があることも踏まえて、よりよい施設の在り方について更なる検討を期待します。

新型コロナウイルス感染も徐々に収束するような状況の中、感染対策を講じながらいくつかのスポーツ及び文化イベント等が復活しています。創意工夫をしながらこれらの事業に関わっている関係者の皆様に敬意を示すとともに、今後も村民の理解も得ながら開催の在り方について更なる検討をされることを期待します。